東ソー株式会社
TOSOH

TOSOH REPORT 2026

統合報告書

東ソーの理念とサステナビリティ経営

東ソーグループは、「地球とヒトがいつまでも幸せで快適に暮らせる社会」の実現に向けて、「地球とヒトの快適な暮らしのパートナー」としての存在意義を発揮することで、気候変動をはじめとする社会課題の解決と持続的な成長の両立を目指します。

その実現に向けて、化学の革新を通して持続的な価値を創出するとともに、また、その価値創出を支える組織へと進化しながら、強固で盤石な経営基盤の構築と責任ある経営を推進していきます。



サステナビリティ基本方針
事業を通じて社会課題を解決し、環境・社会・経済の価値を創出する持続可能な成長を進めるための基本的な考え方と行動指針です。

Vision2030
「成長」と「脱炭素」の両立を経営課題とし、持続可能な社会の実現に向けた2030年までに実現を目指す中長期の経営ビジョンです。

マテリアリティ
「Vision2030」を達成するため、2025～2027年度に取り組むべき最重要課題です。

中期経営計画
「Vision2030」を達成するため、2025～2027年度で戦略的に取り組む重点戦略と数値目標を具体的に定めた経営計画です。






パーパス

地球とヒトの快適な暮らしのパートナー

東ソーグループは「今日も楽しかった」「明日も頑張ろう」と感じられる、
地球環境とヒトがいつまでも幸せで快適に暮らせる社会の実現を目指しています。
化学の力でイノベーションを起こし、未来に続く地球とヒトの笑顔を
生み、守り、育み続けられるよう、快適な暮らしを支え続けます。

「パートナー」という言葉には、これまで社会の基盤を支えてきた東ソーグループが、これからはステークホルダーの皆さまにとって、より身近で信頼される存在でありたい、という思いが込められています。

東ソーグループの主力である基礎化学製品は、日々の暮らしや産業を目立たないところから支え、社会の発展に不可欠な役割を果たしてきました。今後は、人々の暮らしや産業を支えてきた力を基盤として人々の暮らしや社会により近い製品・サービスの提供にも挑戦し、皆さまに「パートナー」として認識していただけるよう取り組んでいきます。

東ソーグループは、これからも地球とヒトの快適な暮らしを支え、ともに歩む存在として、社会課題の解決と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

TOSOH REPORT 2026の編集ポイント

本レポートは株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに、当社グループの持続的な企業価値向上に向けた取り組みをご理解いただくことを目的として、発行しています。

2026年は、当社グループの事業活動や製品・サービスが社会にもたらす価値を示し、社会課題解決への貢献と持続的な成長を、より分かりやすくお伝えすることに注力し編集しています。

トップメッセージ

2030年に向けた経営の構造改革を完遂し、変化に柔軟に対応しながら、着実に成長を実現する経営へ進化する

→ P.5



01 価値創造ストーリー

「地球とヒトの快適な暮らしのパートナー」として、東ソーグループが持続可能な未来に向けて描く価値創造ストーリーとは？

Vision2030実現に向けてマテリアリティに取り組み、社会課題の解決に貢献する製品や技術の提供を推進することで、社会の発展と持続的な企業成長を両立していく

→ P.13

02 価値創造の戦略

「成長」と「脱炭素」両立の実現と中期経営計画の達成に向け、着実に成長するための戦略とは？

「チェーン事業」と「先端事業」のポートフォリオ戦略を軸に、効率と安定を追求した経営改革を進め、財務・気候変動・研究開発・人的資本などの戦略を推進することで、中期経営計画を確実に達成する

→ P.24

03 価値創造の基盤

サステナビリティ経営を原動力とし、持続可能な社会の実現と東ソーグループの企業価値向上を支えるには？

「環境」「社会」「ガバナンス」の各方針に基づく取り組みを着実に推進して社会への責任を果たすとともに、持続可能な社会と企業の発展を支える基盤を構築する

→ P.61

目次

1 東ソーの理念とサステナビリティ経営
3 TOSOH REPORT 2026の編集ポイント
4 目次

トップメッセージ

5 トップメッセージ

プロフィール

10 東ソーグループのあゆみ
11 At a glance
12 事業概要

01 価値創造ストーリー

14 価値創造プロセス
15 外部環境・リスクと機会
16 マテリアリティ
17 マテリアリティとKPI一覧
19 社会課題解決への貢献
20 ソーシャルインパクト
23 社会課題ソリューション

02 価値創造の戦略

25 Vision2030へのアプローチ
26 Vision2030
27 東ソーの強みとビジネスモデル
28 財務戦略
31 中期経営計画の進捗
34 気候変動問題への対応
38 事業戦略
チェーン事業
38 オレフィン事業
40 ポリマー事業
42 化学品事業
44 ウレタン事業
46 有機化成品事業
先端事業
48 バイオサイエンス事業
50 高機能材料事業
52 研究開発
55 知的財産
57 DX戦略
58 人材戦略

03 価値創造の基盤

62 サステナビリティマネジメント
63 レスポンシブル・ケア(RC)
64 環境保全活動の強化
65 安全・安定操業
66 製品安全・品質マネジメント
67 人権尊重
68 CSRサプライチェーンマネジメント
69 社外取締役メッセージ
71 取締役・監査役一覧
74 コーポレートガバナンス
79 コンプライアンス
80 サイバーセキュリティ

データ

81 10ヵ年サマリー
83 財務ハイライト
84 非財務ハイライト
85 セクター別主要指標
87 株式情報
88 社外からの評価
89 会社情報

参考ガイドラインなど

・GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
・ISO26000
・環境省「環境報告ガイドライン2018年版」
・環境省「環境会計ガイドライン2015年版」
・経済産業省「価値協創ガイダンス」

Environment Social Governance
価値協創ガイダンス

報告対象組織

本文中に記載がない場合は、東ソー株式会社単体を対象としています。なお、財務情報は、連結ベースの数値です。

報告対象期間

2025年4月～2026年3月（2026年4月以降の情報も一部含んでいます）

発行

2026年9月　次回発行予定:2027年9月

お問い合わせ先

東ソー株式会社　サステナビリティ推進室

情報開示の体系

